

予 算 要 求 資 料

令和 4 年度 3 月 補正 予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉦業振興費

事 業 名 アフターコロナ対応新商品開発支援事業費補助金 (R5分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号：058-272-1111(内3784)

E-mail：c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 500,000 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	500,000	0	0	0	0	0	0	0	500,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

・アパレル、陶磁器、木工、刃物、紙をはじめとする県内地場産業は、海外との激しい価格競争や人口減少、ライフスタイルの変化等により、産業規模は縮小を続けてきた。そして、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に加え、原油価格の高騰や物価高による影響も加わり事業者は厳しい経営環境に直面している。

・中小企業は大企業に比べ労働生産性が低いこと、後継者が育たず高齢化も相まって廃業を選択する事業者も増えていることなど、これまでも課題として挙げられてきたことが、今般顕在化している。

・廃業や倒産を放置すれば、地域の経営資源が散逸し雇用不安に直結するリスクがあることから、事業継続に前向きな事業者への支援が必要であるが、事業者は先行きへの不安から前向きな取組みを躊躇している。

・県内の地場産業が海外との激しい競争や人口減少、ライフスタイルの変化等に対応するべく努力する中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び原油価格の高騰や物価高の影響により、売上の急減に苦しむ状況にあるため、将来を見据えた新商品開発や設備投資などの取組みを支援することで、事業者の事業継続を支え、地域経済の活性化を図る。

(2) 事業内容

アフターコロナ対応の新商品開発に係る設備導入・改良

○対象者：県内製造業（地場産業）事業者

○補助対象経費：機械装置費、システム構築費、専門家経費

○補助率：2/3

()

○上限：1,000万円（下限100万円）

(3) 県負担・補助率の考え方

地場産業の新たな担い手を創出することは、地場産業の振興に繋がるものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	500,000	機械装置費、システム構築費、専門家経費
合計	500,000	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019～2023年度）

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2)次世代を見据えた産業の振興

(2) 国・他県の状況

国が新型コロナウイルス感染症の拡大及び原油・物価高に対応した経済対策を実施。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業として措置予定

(4) 事業主体及びその妥当性

県内地場産業の振興は県の重要な施策であり、県が事業主体となることは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	アフターコロナ対応新商品開発支援事業費補助金
補助事業者(団体)	地場産業事業者 (理由) 地場産業がこれまで培ってきた技術や人材を次世代に引き継ぎつつ地場産業全体の生産性向上を図るべく、県内地場産業による前向きな設備投資を支援していく。
補助事業の概要	(目的) 地場産業事業者のアフターコロナに向けた生産性の向上及び競争力強化の取組みを支援 (内容) 設備導入経費の一部を補助する
補助率・補助単価等	定率 (内容) 設備導入に対する支援(補助率: 2/3) (理由) 補助事業者に一定割合の負担を求めるため
補助効果	地場産業事業者の生産性向上及び競争力強化
終期の設定	終期 令和5年度 (理由) 新型コロナウイルスの影響を最小限に食い止め、地場産業関係者の事業意欲を喚起するため、本事業において単年度で集中的に支援するため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか アフターコロナを見据え、地場産業事業者の生産性向上及び競争力強化を図る</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	
① 補助採択件数	/	-	40	50	50	

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	-	-	-

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	予想を上回る申請があり、県内事業者からの継続要望が多い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 2	目標を上回る件数を採択した。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	新型コロナウイルス感染の感染状況および、物価高騰、半導体不足など事業者を取り巻く状況に応じた柔軟な対応が必要となる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、売上の大幅な減少に見舞われ、廃業を考える中小企業も多く、地場産業に関わる中小企業の貴重な経営資源(人材・技術など)が維持できなくなる恐れがある。	
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルスの影響を最小限に食い止め、地場産業関係者の事業意欲を喚起するため、本事業において単年度で集中的に支援する。	
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--